

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 佐用町

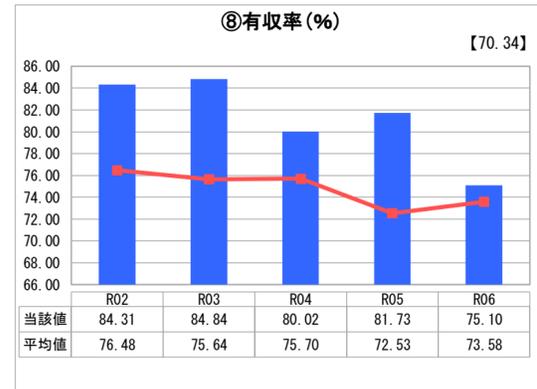
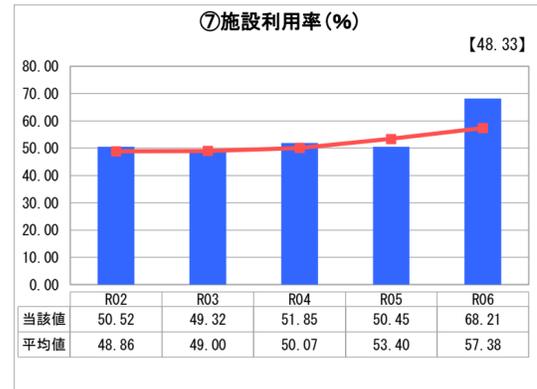
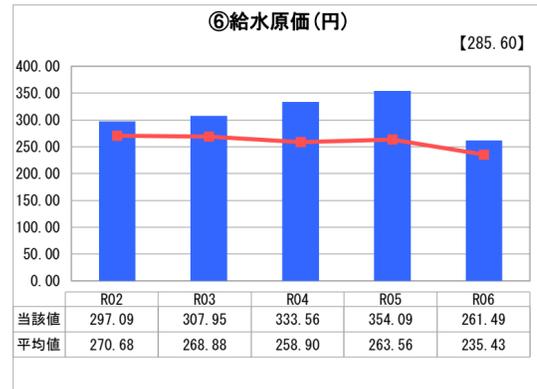
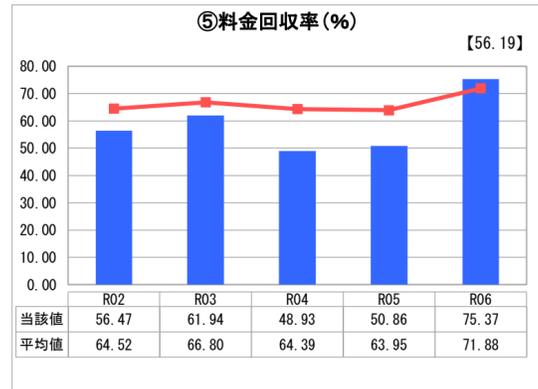
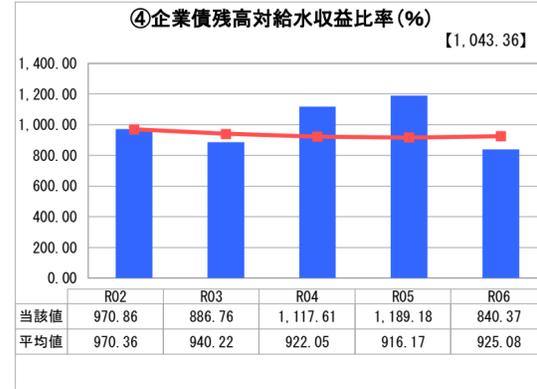
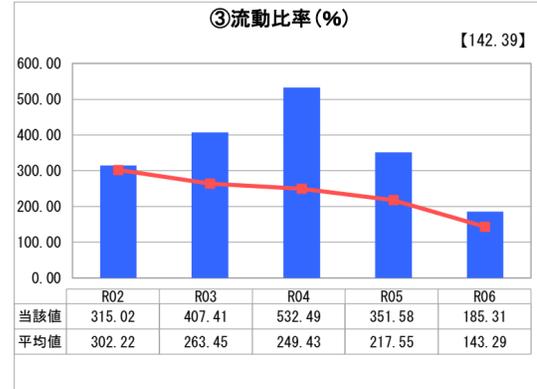
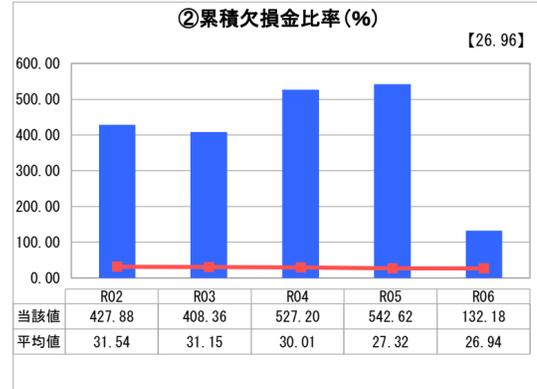
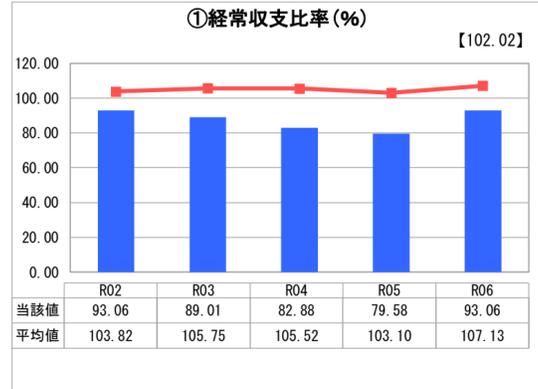
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	62.62	97.17	3,465	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,727	307.44	47.90
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,139	72.00	196.38

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

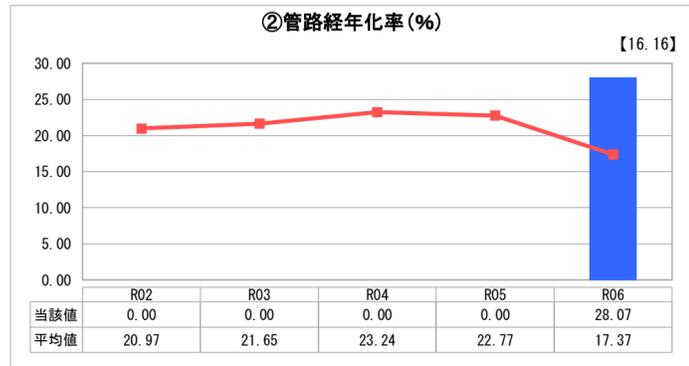
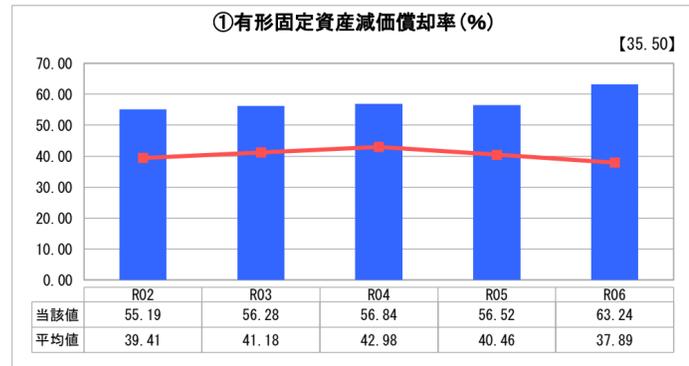
令和6年度より法非適の簡易水道事業を法適の簡易水道事業と統合し、簡易水道事業（法適）となっている。

① 経常収支比率は類似団体平均より低い水準にあり、費用が給水収益を上回っていることが確認できる。また、経営状況は基準外繰入金により維持している状況です。繰入依存の度合を踏まえつつ、経営の自立性向上を図る必要があります。② 累積欠損金比率については会計の統合により前年度より下がってきているが欠損金は増加している状況である。③ 流動比率は会計の統合も踏まえ事業費未払金の増加等により前年度より減少している。④ 企業債残高対給水収益比率は類似団体及び全国平均より下回っているが今後、上水管の更新や老朽設備の更新等の事業に伴い企業債の新規発行額の増加が予想され高くなっていくことが見込まれる。⑤ ⑦ 給水原価については類似団体平均より高い水準となっている。一方、施設利用率は高く、施設能力の活用は進んでいる状況にある。これは老朽化した施設・管路の維持管理費や更新投資に伴う減価償却費、地理的条件に起因する動力費等が影響し、コスト構造が重くなっていることによるものと考えられる。今後は、計画的な施設更新や業務の効率化により、給水原価の抑制に努めていく。⑧ 有収率は類似団体と比較して高く、施設の稼働状況は適正な範囲と言える。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産原価償却率が高いことから、相当年数を経過した資産の割合が高い状況にあり、また、管路経年化率も高水準であることから、管路の老朽化が進行していると考えられる。今後、更新需要の集中により多額の更新投資が必要となる可能性があるため、アセットマネジメントの考え方に基づき、更新計画の平準化や更新優先順位の明確化を図るとともに経営基盤の強化に取り組んでいく必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

当該水道事業は、山間地という地域特性から加圧ポンプ等の施設が点在しており、送水にかかる動力費や維持管理費が都市部と比較して高くなる構造にある。また、過疎化の進行に伴う人口減少により給水収益は減少傾向にある、経営環境は厳しさを増している。今後は経営戦略及びアセットマネジメントに基づき、施設の統廃合や更新の平準化を図るとともに、中長期的な視点に立った効率的かつ持続可能な事業運営に取り組んでいく必要がある。